



重度障がい児支援 花色 NEWS LETTER



vol.50
2024.12.19

北海道旭川養護学校
田中英規先生
療育研修
ありがとう!



11月27日花色恒例の、資質向上を目的とした『1日研修』を行いました。研修のため、臨時休業にご理解とご協力をいただき有難うございました。今年講師に、北海道旭川養護学校総合支援部 田中英規先生にお越しいただきました。

冒頭、「あなたにしてみれば・・・」の問いかけから始まりました。こども達の身体状態を深く考えながら、時に自分自身におきかえ、もう一度こども達の心や環境についてを考えるという～思いやりあふれる講義～でした。その中で、先生がこれまで身近な段ボール等を使い工夫しながら、こども達が身体で感じ受け、興味をもち、自ら(身体を)動かしたいと思える教材をつくってきた例と、その際にどのような点を評価をし、発展させ、観察や調整をし、そこで生まれる「できた！」等の感情を共有するという所までの大切さが、本人の自信と共に信頼関係に繋がっていく事を、貴重な経験から教えていただきました。田中先生は、「感受性期はあっても、いつからでも成長はできます。」と、当事業所に通所してくれているこども達の、ここ1年の目覚ましい発達状態と一緒に振り返っていただきました。そして、「こども達が多くの人との「関係性」の中で生きる人になって欲しい。」という思いを伝えてくださいました。これは漠然と、私たちも同様に抱いておりましたが、そこにつかみ切れていない視点や工夫方法をわかりやすくご教示いただき、目から鱗がおちる思いでした。「講義の結び」は、再度「あなたにしてみれば。」で締めくり、その際に“人見眞里さん”の残した言葉を読んでくださいました。「脳損傷から始まる発達もある。脳損傷から始まる発達は、当人にとっては遅延や欠損や逸脱ではなく、固有の発達である。」・・・この言葉。私たちが「支援」の中で、時に悩むところでもあり、“支援者がどのような視点で、どこまで支援したら良いのか”の、答えになるとも感じました。

今回の研修を受け、私たちはこども達一人ひとりの発達に着目し、動かせる機能にはお節介にならずに、そだつ事を伴走したり、一緒に悩んだりしながら、各々が、「色々な人と関わりたい。」と思えるような携わり方を大切にしていきたいと改めて感じ受けました。

未就学児のお子様も、旭川養護学校に通い始めると、驚くほど意思の表出方法を磨き、楽しそうに披露してくれます。「学校って、こどもの個性と能力が伸びるためにも必要な時間と教育なんだ！」といつも思います。各先生、本当に有難うございます。そして田中英規先生、貴重なご講義をいただき、心よりお礼申し上げます。どうか、これからも宜しくお願い致します。 花色一同



重度障がい児支援 花色 NEWS LETTER



良いお年を
お迎え下さい

花色スタッフの風景



12月2日 災害対策委員会 (発電機と個別避難計画)

早いもので、年末のご挨拶をさせて頂く時期になりました。本年も花色を見守り、支えていただき厚くお礼申し上げます。おかげさまで、こども達と共に年の瀬を迎えることができました。

利用児様、保護者様、関係機関の皆様、全国から応援してくださっている皆様のご厚意のおかげと深謝いたします。

2024年は、元旦の能登半島地震からはじまりました。「私達は災害対策ができていのだろうか？ 頼みの綱の“役場職員”も被災者になるのに、今のままでいいのだろうか。」という点を、能登半島の皆様と、輪島支援に入っている青年海外協力協会の皆様のお力を借りて学ばせていただくことができました。

日本は少子化が進み、人口が減る一方です。災害時対策で求められていることは昭和時代にあった“ご近所づきあいの復活”だと考えます。「人付き合いは面倒くさい。」と、インターネットに頼ることで事欠かない時代になっていますが、大切なことを見失いがちです。災害時等、電気や電波を失えば、ネットで命を守ることはできません。そしてもう一つ、大人数で調理する機会に参加する経験が無ければ、災害時の“炊き出し”を行うこともできません。人は人と支え合って地域をつくり、暮らしていくという当たり前を改めて心に刻む一年になりました。

地球的規模の環境破壊の抑止に日頃から関心を持ち、多くの人とつながり、持ちつ持たれつの中、人間関係を心地よいものにできるかどうか、こども達の未来に繋がります。2025年は、多くの人々の優しさで“地域の輪”を育んでいけるようにと願います。皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

齋藤由紀



味見も嬉しい



抹茶味
ですね

おっとっ

アイス屋さん・運転手さん
ごっこあそび



にあう〜

いらっしゃいませ



左に
まがりま〜す



次、とまります



次は私の番？



ぼくたちが乗る
バスがきたよ



花色スタッフの風景



11月27日
大掃除



重度障がい児支援 花色



NEW LETTER

11月29日
川村健太郎先生と香西杏子さんがあそびに来てくれました。

花色のみなさん
こんにちは～



ハートキッズ・ライフリンク
香西杏子さん

訪問診療をしている
札幌の稲生会
生涯医療クリニック札幌の
院長 川村健太郎先生

元気いっぱい先生だあ

けんたろー
せんせえ
また来てね～

先生の雰囲気、だれかに似ている気がするなあ・・・

被災地に行って学んだこと

電気のありがたさ

6年前、北海道はブラックアウトが occurred。北海道中が1日～3日停電がおき、信号が止まりました。社会は混乱し、コンビニに人が殺到し商品が消えました。医ケア児は日常的に電気があって生活ができています。酸素濃縮器が動き、痰の吸引も電気頼みです。停電がおこると、命に直結する緊急事態が勃発します。「花色は？」という、2台のハイエースのカーインバーター他に、小さくも自前の蓄電池が2つあります。一つは片手で持てる手軽な大きさのもの。もう一つはソーラーパネル3時間で高速充電できる1070Whの蓄電池です。一般的な“自家発電機”は、屋外で使用しなければなりません。蓄電池でしたら室内のお子様のそばで電気が使えます。自治体によっては非常用電源の購入費の助成がある所もあります。旭川市も『今後、非常用電源の助成の検討と、できましたら・・・こちら(左)のソーラーパネル付き蓄電池も対象にして欲しい。』と願います。

非常用電源の不安が減ると、それだけでも“ご家族の日常的な不安感”は軽減されます。



がんばろう
能登



ブラックフライデーでは
Amazonで40%off!

おすすめ



ケーキと焼き菓子屋さん

THOREAU



ひとと、たべた時に「すっごい美味しいケーキ！」と感動したケーキ屋さんが鷹栖にあります。

セント旭川ゴルフクラブさんの入り口“迎え”にかわいいグレーの小屋があり、茶色いドアの横に控え目に[THOREAU]と看板があります。

甘さ控えめ。しっとりしたスポンジと生クリームが絶妙で、幸せ～な気持ちになるケーキです。旭川実業高校の坂をず～っと真っすぐ車で走ると辿り着くので、意外とわかりやすい場所です。

景色を楽しみながら、ぜひ行ってみてください。金土日11:00～17:00のみの営業ですので、お間違えなく。(鷹栖町15線7号)

YUMMY!

北海道

